

公益財団法人大学セミナーハウス主催 駐日欧州連合代表部 後援
グローバルアカデミーセミナー 第9回 EUセミナー

EU



の連帯とコロナ危機

■開催日程：2021年9月25日(土)～26日(日)

■開催形態：Zoomを用いたオンラインセミナー

■開催趣旨

EUセミナー企画委員長 渡邊啓貴

新型コロナウイルスの感染が世界を席卷しました。医学の発達した今世紀、これほどの広範な感染拡大は想像もできなかったことです。ウィルスの猛威を前に new normal という新たな言葉まで生まれました。それは日常生活から国際秩序に至るまでの価値観や行動様式の変化をもたらすかもしれません。そうした中での BREXIT は予定通りに進むのか。欧州経済の立ち直りのカギはどこにあるのか。そして欧州統合はどこに向かうのか。EUの連帯が試されます。

■特別講演 EUと日本・アジアの関係 (EU-Japan/Asia Relations)

欧州連合駐日代表部公使 / 副代表：ハイツェ・ジューメルス

第1分科会「コロナ危機とEUの経済政策」

指導講師：田中 素香先生(中央大学経済研究所客員研究員・東北大学名誉教授)
太田 瑞希子先生(日本大学経済学部准教授)

第2分科会「EUの連帯と感染症政策とガバナンスの変容」

指導講師：福田 耕治先生(早稲田大学政治経済学術院教授)
武田 健先生(青山学院大学国際政治経済学部准教授)

第3分科会「コロナ危機後のEUと国際秩序」

指導講師：小久保 康之先生(東洋英和女学院大学国際社会学部教授)
渡邊 啓貴先生(帝京大学法学部教授・東京外国語大学名誉教授)

第4分科会「欧州グリーンディール」

指導講師：蓮見 雄先生(立教大学経済学部教授)
中西 優美子先生(一橋大学大学院法学研究科教授)



募集対象：大学生(大学院生、留学生を含む)、高校生、社会人

募集人員：80名(先着順)

参加費：会員校学生(講師ゼミ生を含む)1,500円、一般校学生2,500円、社会人8,000円
*参加費には受講費・消費税を含みます。

申込方法：「大学セミナーハウス」HP (<https://iush.jp>) のトップページ「第9回EUセミナー」の告知欄より申込ページに入り、必要事項をご入力の上、お申込みください。

申込締切：9月21日(火)

問合せ先：大学セミナーハウス セミナー事業部

TEL:042-676-8512(直) Email: seminar@seminarhouse.or.jp



EUの連帯とコロナ危機

特別講演 テーマ：EU と日本・アジアの関係 (EU-Japan/Asia Relations)
講演者：欧州連合駐日代表部公使 / 副代表：ハイツェ・ジューメルス

分科会

ご関心のあるテーマを（分科会）を申し込み時に選んでいただきます。
分科会では、講師指導のもと、問題設定、解明、まとめといった段取りで議論を展開します。

田中 素香
中央大学経済研究所客員研究員
東北大学名誉教授



太田 瑞希子
日本大学経済学部准教授



第1分科会 コロナ危機とEUの経済政策

EU加盟国の新型コロナ危機のダメージは21年春時点でもなお厳しい。経済は大きく落ち込み、財政赤字も膨らんでいる。EUは昨年7500億ユーロ（約100兆円）の復興基金（RRF）の創設を決めた。欧州委員会が公債を発行して資金を調達して加盟国に配分しグリーン化・デジタル化で経済構造を変革し、併せて格差縮小などにも挑戦しながら経済復興をはかる計画である。第1分科会では、新型コロナ危機以降のEU経済と復興の経済政策を考察する。加盟国を個別に取り上げると共に、過去10年余りのEU統合の歩みに照らして現状の意味を認識するようにしたい。

福田 耕治
早稲田大学政治経済学術院教授



武田 健
青山学院大学
国際政治経済学部准教授



第2分科会 EUの連帯と感染症政策とガバナンスの変容

本分科会は、EUの保健・医療・公衆衛生政策と越境感染症問題に焦点を当てる。新型コロナウィルスの感染の広がりを受け、EUは加盟各国のヘルスケアシステムへのサポート、域外からのEU市民の帰還支援、ワクチンの開発支援や輸出体制の整備、越境感染予防のための政策などに着手した。域外に向けても、途上国に対する医療上の人員、物資、資金の提供、ワクチンの広範な供給のための国際的な枠組みであるCOVAXへの協力も行っている。本分科会では、EUのそれらの対応策がこれまでにどれほどの効果を見せているのかを考察する。そしてEUはこの危機をどのように乗り越えていくことができるのかを考察したい。

小久保 康之
東洋英和女学院大学
国際社会学部教授



渡邊 啓貴
帝京大学法学部教授
東京外国語大学名誉教授



第3分科会 コロナ危機後のEUと国際秩序

コロナ危機は国際秩序にどのような影響をもたらすのであろうか。各国が自国防衛に走り、国際協調の流れは押し留められるのか。いち早く感染終息を宣言している中国は新たな国際秩序の中でどう振る舞うのであろうか。経済活動への影響は、国際秩序にどのような力関係の変容をもたらすのであろうか。そのようなコロナ危機の中で、EUは内部の連帯を維持し、国際社会への影響力を保持していけるのか。皆さんと議論したいと思います。

蓮見 雄
立教大学経済学部教授



中西 優美子
一橋大学大学院法学研究科教授



第4分科会 欧州グリーンディール

欧州グリーンディールは、2050年までに温室効果ガス排出ゼロを目指す気候変動政策であると同時に、EUの産業構造を転換し、グリーン、デジタル、サーキュラー・エコノミーという新たな成長分野における発展を目指す成長戦略でもある。今や、欧州グリーンディールは、復興戦略の中核に位置づけられており、欧州グリーンディールに焦点を当てながら、EUの将来について考えてみたい。

開催プログラム

■1日目 9月25日（土）

10:00～11:00 開会・全体会
11:00～12:15 特別講演（駐日欧州連合代表部大使）
12:15～13:30 昼休み
13:30～16:30 分科会討論（1）
16:30～17:30 中間報告
17:30～2日目へ 分科会討論

■2日目 9月26日（日）

9:30～11:00 分科会討論（2）
11:00～12:30 最終報告
12:30～ 閉会・修了証授与（メール送付）